

校 歌

作詞 楠 田 鎮 雄

1 七彩匂う虹の香の
大空渡すそれよりも
意気高うして穢^{けがれ}なき
まゆまだ若男児^{おのこ}らが
うずまく濁世^{じよくせ}に尊しや
平和の光立^{りっこく}国の
基^{もと}を建てし蓮華原^{れんげばら}

2 翼^うをのして天を搏^うつ
鵬^{おおとり}の姿^{さま}かれよりも
自ら治めて己^{われ}に克^くつ
信義にあつき吾が友が
どよめく巷^{ちまた}に勇ましや
国の礎^{いしずえ}工業の
旗ひるがえす学びの舎^や

3 無限の軌^{みち}を軋^{きし}り出^いず
天地^{おきて}の掟なれよりも
真理をひらきて進み行く
理想は高き学び児が
神秘の闇にたのもしや
鉄の槌音^{つちおとばんゆう}万有の
力をくだかん山松工^{さんしょうこう}